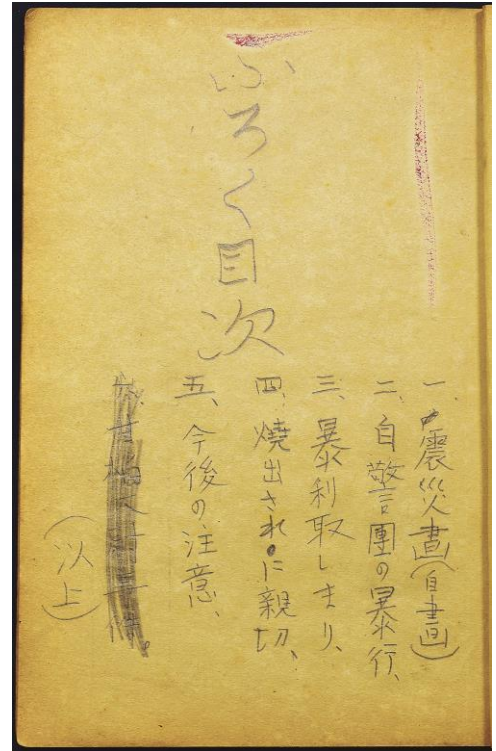


(3)甘粕事件

震災直後、アナーキストの大杉栄(おおすぎさかえ)、その内縁の妻である女性解放運動家の伊藤野枝(いとうのえ)、そして大杉の甥が憲兵大尉の甘粕正彦(あまかすまさひこ)らに殺害される甘粕事件が起きた。丸山はこの事件に衝撃を受け、『恐るべき大震災大火災の思出』の附録でとりあげようとしたが、目次に項目を立てたのみで結局書かれることなく、項目も抹消されている。



いくらぼくが生意気でもね、小学校四年生でね、大

杉栄のことを書けるはずがないですよ。だけど非常

なショックだったから。(中略) おふくろなんかは、(大杉の)甥っ子まで一緒に殺され

たことで、「ひどい」って言って、小学生の時だけ覚えています。(丸山眞男『自由につ

いて 七つの問答』)

この事件は丸山の意識に残り続けた。高校時代に検挙され、特別高等警察(特高)の刑事

から長谷川如是閑(はせがわにょぜかん)について、「戦争になったら真っ先に殺される人間だ」

と言われたとき、丸山はすぐに大杉栄を連想し、目の前が真っ暗になったという(画像:丸

山眞男『恐るべき大震災大火災の思出』)。